

指導者集合訓練における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

2020.6.9 ver01

日本連盟指導者養成委員会

1. はじめに

日本連盟では、各地域で指導者集合訓練を開催する際の感染拡大予防のための留意点について、5月24日にお知らせしております「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（以降、「活動のガイドライン」）の内容を踏まえ、集合訓練におけるガイドラインとしてまとめました。各地域では、本ガイドラインに沿って指導者集合訓練を実施していただくようお願いします。ただし、今後の状況により、政府はもとより各地域（自治体）から新たな自粛要請等が発出された場合は、この要請に応えることとします。引き続き、各自治体、地域とも連携した対応をお願いいたします。

本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しており、今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ますことをご理解ください。また、本ガイドラインは、指導者集合訓練のためのものであるため、スカウトの隊活動などの内容を示すものではありません。この点もご理解ください。

2. ガイドラインの目的

- a. 各地域で感染拡大防止に取り組みながら、「新しい生活様式」に対応した指導者集合訓練を行っていくための考え方を示す。
- b. 感染拡大予防のために遵守すべき留意点を示す。
※スカウト活動に対する留意点とは異なる内容を中心に示していることから、スカウト活動に対する方針に適用しないこと。
- c. 集合訓練に関連して感染が拡大する事態が起きた時の対応について示す。

3. 感染の予防と実践

「活動のガイドライン」における「感染の予防と実践」を実施した上で、次の対応をとる。

- a. 講義における対応
講義等においては十分な間隔が取れる部屋を用意することとし、可能であれば屋外で実施する。
グループワークにおいては、白熱しすぎないように配慮し、短時間で終了するよう心がける。
アイスブレイクゲームなどは、言葉を発しないものや身体接触がないものを活用する。
- b. 宿泊における対応
野営（テント泊）においては、個別のテント（ドームテント等）を利用する。
舎営（宿舍泊）においては、利用施設の指示に従いできるだけ個室を利用するとともに、一部通いでの実施とすることを検討する。
- c. 食事における対応
食事においては、衛生に十分留意し、食器・箸など個別で利用し、共用はしない。
対面での食事はできるだけ避け、食事中的会話を慎むよう指導する。

d. 体調管理

訓練コースにおいては、参加者及びスタッフは毎朝定時に検温し記録を行い、訓練期間中に体調不良を感じた参加者は直ちに申し出るようにすること。

4. 指導者集合訓練実施の可否について

開設にあたっては、日本連盟から中止要請があった場合には要請に応じることとし、開設場所の自治体から発せられる情報を十分に考慮した上で、最終的には県連盟において判断する。

参加者募集にあたっては、本人の参加意思を十分に確認し、参加を強要することが無いようにする。

5. 開設準備について

準備の段階から3つの密を避けた対応を徹底する。スタッフ会議においても、できるだけオンライン会議を活用することとし、実際に集合して打ち合わせをする際は、屋外で実施するか十分な間隔が取れる部屋を用意した上で、短時間で終了するよう計画する。

6. 訓練中に感染者が発生した時（疑いがある場合も含む）の対応

今後、指導者訓練中に感染者が発生した場合は、速やかに訓練を中止した上で、感染拡大への対策を講じるとともに、県連盟を通じて日本連盟に報告する。

以上